

## 交通・輸送特集の発刊に際して

副社長執行役員  
ドメイン CEO  
交通・輸送ドメイン長

鯨井 洋一  
Yoichi Kujirai



交通・輸送特集の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

交通・輸送ドメインでは、交通システム、商船、民間機などの陸・海・空の先進的交通・輸送システムを提供し、各分野で培ってきた技術に裏打ちされた高い安全性と確かな品質・信頼性で、現代社会における社会基盤の維持や、生活に必要な物資を運ぶ手段の進化に貢献しています。

本号では、交通・輸送ドメインにおける近年の成果の内、民間機事業と交通システム事業から4件の製品及び技術を紹介いたします。

世界の民間機市場は、新興国を中心とする旅客需要増とLCC (Low Cost Carrier)の躍進による航空機利用の大衆化、環境保護意識の高まりと低燃費要請による新型機需要の増加に伴い、年率約5%の成長が続き、今後20年間で倍増して5兆ドル規模になると予測されています。

交通・輸送ドメインでは、航空機の国際共同開発・製造事業、民間航空機用エンジン事業、次世代リージョナルジェット機MRJの開発などを通じて、グローバルな航空輸送インフラの構築に貢献しています。これらの事業を支える製品及び技術の中から、現在開発中のMRJに関する最新情報と民間航空機エンジン事業における産業クラスターの形成・活用について説明いたします。

交通システムの市場は、東南アジア、南米及び中東などを中心とした底堅いインフラ整備需要に支えられて、年率2~3%で成長しており、現状では22兆円規模が見込まれています。交通・輸送ドメインではこれら世界各地の都市交通大型案件や高速鉄道計画への取り組みをグローバルに展開しています。また、受注拡大に向けてEPC(Engineering Procurement Construction)遂行能力の更なる強化を目的として、社内に分散している経験、ノウハウ、人材リソースを共有化し、トータルEPC遂行能力のレベルアップを図る組織体制として、2016年4月に各ドメインが保有するEPC機能(交通システム、化学プラント等)を集約し、エンジニアリング本部が設立されました。

交通システムからは、2014年10月に運用を開始したわが国初の総合交通システム検証施設“MIHARA 試験センター”の最近における設備の充実、活用についての説明と、都市の交通問題解消のための新たなTOD(Transit Oriented Development)のソリューション及び最高時速120km/hを達成し、高い環境性能と走行性能を特長としたAGT(Automated Guideway Transit)を紹介いたします。

航空機産業は、技術の波及効果が大きく、産業の裾野が広いことから、わが国製造業高度化の牽引力として期待されています。また交通システムは豊かで安全な社会生活を支えるインフラとして、世界各地で整備が進められています。今後、世界でわが国が確固たる地位を築くためには、グローバルスタンダードに適合する技術開発が必要です。欧米やアジアをはじめとする新興諸国に負けない国際競争力を確保するために、今後も一步一步、着実な技術開発を進めていく所存です。これからも私どもの活動に対し、ご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。